



夢はしよる みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度 国際ロータリー第2730地区 宮崎県中部グループ

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 78 回例会 2021年 12月 21日

- 例会場 宮崎大学附属図書館3階「hidamari」・オンライン
会長 水居 徹 副会長 原田隆治 幹事 辻清



■会長の時間 水居 徹会長

このところ、ガバナー公式訪問や夜間例会が続きました。私のあいさつもほとんど数分レベルでしたので、昨夜は慌てて原稿を考えたところです。

浅草キッドという映画がNETFLIXで今月9日より配信されています。私はビートたけし、北野武が大好きです。

学生時代にオールナイトニッポンでDJを高田文夫と一緒に

やっていたのですが、毎週欠かさず聴いていました。

当初毒を吐く漫才で一世を風靡した感があるたけしですが、漫才ブームが少し落ち着き、彼のピン（ソロ）活動の開始がこの深夜放送でした。デビューしたての芸人やたけしの弟子たちが登場し、高田文夫の構成も秀逸で、すっかりはまっていた。

その後、就職で上京すると、仕事もあって深夜放送は聞かなくなりましたが、俺たちひょうきん族などたけしの時代が始まったとも言えます。私は浅草が好きでよく行っていました。バブルを迎えても浅草は意外と静かでした。勤めていた東芝が浜松町というところにあつたのですが、歩いて10分ほどのところに船着き場があり、浅草まで船でいけました。海外からのお客をよく缶ビール飲みながら浅草に案内したものです。

浅草キッドはたけしとその師匠の話なのですが、その時代は私が上京する数年前でした。師匠の深見千三郎が59歳で火事でなくなるのが、私が入社する約1か月前になります。浅草では煮込みやおでん、鮎を楽しみました。古い映画館があり、スクリーンの下で親子の猫が歩いているのどかな時代でした。

浅草キッドという映画を見るとその頃の浅草がよみがえってきます。そして師匠役の大泉洋、たけし役の柳楽優弥、きよし役のナイツの土屋とかの演技が光ります。

たけし役の演技の指導は松村邦彦が担当したそうです。東八郎役もそうですが、その時代やその人物を知っている方は驚かれると思います。50代の鈴木保奈美も出ています。子育ても終わり、離婚はされたようですが、再び女優として活動を開始したようです。

あまり話すとネタバレになりますので、映画についてはぜひご覧くださいということとどめですが、一方でNETFLIXの急成長とその魅力あるコンテンツ戦略には感心します。イカゲームは1億人以上が世界で視聴し90か国で1位を獲得と制作した韓国の業界もすごいのですが、イカゲームグッズというか衣装である緑のジャージはかなり売れたようです。

さて、浅草にもロータリーがあります。2クラブあるのですが、まだメイクアップには行っていません。浅草のロータリーには芸人はいないでしょうか？今度調べてみたいと思います。

芸人ではないのですが、東京恵比寿ロータリークラブには司葉子さん、松島トモ子さんがいらっしゃいます。最近では高橋英樹さんがおそらく東京芝ロータリーにいらっしゃるようです。

クリスマスを迎え、ファーストフードのKFCでは、カーネルサンダース人形がサンタの格好をしています。前にも申し上げましたが、カーネルはロータリアンとしても有名です。サンタの衣装がなくなったら、左の襟を見てください。ロータリーバッジが確認できます。

■幹事報告

幹事の辻です。

本日の例会が今年最後となりました。

幹事を仰せつかってから、あっという間の半年です。コロナ渦であっても、一回も例会を休会することなく運営できたのは、皆様のご協力の賜物であります。心から感謝申し上げます。

年明けより残りの半年間、より良いクラブ運営ができますように努力いたしますが、皆様にも変わらずご協力いただきますようお願いいたします。

①年始の行事予定について

- ・第79回例会2022.1.11（火）12:00～
- ・第4回理事会兼第8回スタッフ会議2022.1.11（火）13:00～
- ・第80回例会2022.1.25（火）12:00～
- ・第2回クラブ協議会2022.1.25（火）13:00～

②退会者について

酒井会員、戸田会員より退会の申し出があり、12月理事会で承認されました。

非常に残念ではありますが、退会されてもご縁が続きますことを願います。

③本日の配布物

ロータリーの友12月号、月信12月号

良いお年をお迎えください。

■出席報告 クラブ管理委員会 梶田副委員長

本日状況

会員数 39名 出席20名 オンライン出席2名 欠席17名 出席率56.41%

第77回夜間例会 修正出席

会員数39名 出席17名 メイクアップ14名 出席率 74.49%

■新入会者

杉山 智行会員

瀧 伸一会員

入会おめでとうございます。

■11月、12月誕生日

11月

成合 修会員

水居 徹会員

12月

井手 知仁会員

梅田 裕樹会員

お誕生月の皆様 おめでとうございます。



■年次総会

薬王寺会長エレクトより次年度の役員・理事のご紹介があり

本総会で承認されました。

(詳細は、後日HPにアップ致します。)

■卓話

「卓話（好きなスポーツの話）」

原田 隆治

皆さん こんにちは。今回で2回目の卓話となります。

前回は、自身の仕事に関する話をさせていただいたので、本日は、私の好きなスポーツの一つであるテニスに纏わる話しをさせていただきます。

一般的に、テニスと言えばローンテニス（硬式テニス）かソフトテニス（軟式テニス）を思い浮かべると思いますが、その他にも、車いすテニス、ビーチテニス、バドルテニス、フリーテニス、エスキーテニス、バウンドテニスといった競技も存在します。（これらは、テニスと卓球、又はバドミントンを取り入れたテニスの縮小版スポーツです。）

硬式テニスと軟式テニスの違いですが、①使用ボール、②ラケット及び打ち方、③ゲームカウントの数え方、④コートネットの高さなど、結構違いがあります。

テニスの起源は、紀元前のエジプトが始まりと言われおり、現代テニスの原型はフランスで考えられた「ジュ・ド・ポーム」というゲームで、その後、イギリスで勝敗を争うスポーツに変化しテニスと呼ばれるようになり、ヨーロッパの国々に広まっていきました。日本へは、明治の初頭（1878年）に、横浜の外国人居留地に持ち込まれたのが始まりで、横浜の山手公園内に「日本庭球発祥之地」の記念碑があるそうです。しかし、硬式テニスは本格的に普及するには至らず、逆に、国産ゴムマリの開発に伴い、1890年頃軟式テニスが日本で考案され、全国の学校に広まっていきました。



硬式テニスが盛んになっていったのは大正時代になってからです。1922年（大正11）に、日本庭球協会が創設され、国内の組織的活動が始まり、競技スポーツとして大きく成長していくこととなりました。日本の硬式テニスの先駆者としては、熊谷一弥、清水善造、柏尾誠一郎、原田武一、佐藤次郎氏などで、当時素晴らしい活躍をされています。特に、熊谷氏は宮崎に縁があり、旧制宮崎中学校（現在の宮崎高校）を卒業されています。また、日本人のスポーツ選手として史上初のオリンピック・メダルを獲得した選手でもあります。（アントワープ五輪のテニス競技で銀メダル2個）

近年の日本の歴代プロで主な選手は、石黒修（日本初のプロ、※俳優石黒賢の父親でもある）、神和住純（初のツアープロ）、松岡修造（男子初のツアー優勝者）、沢松和子（ウィンブルドンダブルス優勝）、沢松奈生子（最高ランキング14位、沢松和子の姪）、伊達公子（最高ランキング4位）、杉山愛（ダブルス最高ランキング1位）などが有名であり、更に、現役のプロ選手では、男子では、錦織圭や西岡良仁、女子では、大阪なおみ、土居美咲選手などが今も世界で活躍されています。

また、日本テニス界期待の若手も育っています。1人目は望月慎太郎選手(18)で、2019年のウィンブルドンでジュニア部門の優勝者です。2人目は本田尚也選手(15)で国内のジュニア部門で多々優勝し、2021年の16歳以下テニスヨーロッパ大会でも優勝しています。今後、このような選手が、錦織選手を追いかけ追い越し、世界で活躍する姿を楽しみにしながら、今回の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。